

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」第11回助成プログラムの市民団体募集！

～従業員の募金を基に、阪急阪神沿線で活動する市民団体を応援します～

阪急阪神ホールディングスグループでは、「未来にわたり住みたいまち」づくりに向け、社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」を推し進めています。これを実践していくには、当社グループが本プロジェクトに真摯に取り組むことはもとより、沿線地域の市民団体との協働が大切だと考えています。そこで、10年前から、この考えに賛同する従業員が募金を行い、集まった募金と同額を会社が上乘せして、ゆめ・まちプロジェクトの重点領域である「地域環境づくり」や「次世代の育成」に取り組む阪急阪神沿線の市民団体への助成を行っています。



第11回の募集内容は以下の通りです。

1. 募集内容（抜粋）

募集分野

『地域環境づくり』または『次世代の育成』（※1）のいずれかの分野に取り組み、国連が進めるSDGs（※2）のうち、目標④「質の高い教育をみんなに」もしくは目標⑩「住み続けられるまちづくりを」の達成につながる活動を行っている市民団体

（※1）『地域環境づくり』：地域の安全・美化活動、里山保全、地産地消、まちづくりなど

『次世代の育成』：子どものための環境教育、文化・芸術・スポーツ活動、国際理解教育、困難な状況にある子どもの支援など

（※2）SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟国が2030年までに17分野で社会課題の解決を達成することを目標に掲げている。

団体要件

阪急阪神沿線（※3）を活動フィールドとし、上記募集分野における活動実績が3年以上ある非営利の市民団体

（※3）阪急阪神沿線：当社グループの主な鉄道の駅または主なバスの営業所がある22市町

助成額・団体数

1団体あたり50万円、8団体程度

2. プログラムの特徴

- （1）阪急阪神沿線で活動する市民団体に特化して支援します。
- （2）既存・新規事業を問わず助成金の使途が自由で、団体にとって使いやすくしています。
- （3）当社グループの従業員の募金から成る「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」と、当社からの同額上乘せにより助成します。

3. スケジュール

2019年 9月 2日（月） 応募受付開始

10月21日（月） 応募締切（当日消印有効）

2020年 3月

助成対象団体決定 ※決定した助成対象団体は当社ホームページなどで発表します。

4. 主催 阪急阪神ホールディングス グループ

5. 助成事務局（助成に関するお問い合わせ・お申込み先）

社会福祉法人 大阪ボランティア協会 TEL：06-6809-4901

6. その他

今回（第11回）の助成総額は1,000万円の予定です。1,000万円のうち、400万円分は上記の通り今回新たに助成先を公募しますが、残額分は前回の募集で助成先が決定しており、具体的には2019年度から3年間の助成を決定した6団体の事業に助成する予定です。

以上

【ホームページ】http://www.osakavol.org/yumemachi_kikin/

【添付資料】「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」助成プログラム 募集チラシ

【お知らせ配布先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

報道機関からのお問い合わせ先

阪急阪神ホールディングス株式会社 グループ経営企画室 広報部 TEL：06-6373-5092

第11回 阪急阪神 未来のゆめ・まち基金

助成プログラム



あなたのキモチ、応援したい。 未来のため、まちのために。

阪急阪神ホールディングスグループは、「未来にわたり住みたいまち」づくりに向け、社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」を推し進めています。より良いまちづくりには、当社グループが本プロジェクトに真摯に取り組むことに加え、沿線地域の皆様との協働が大切だと考えています。そこで、この考えに賛同する従業員が募金を行い、集まった募金と同額を会社が上乗せして、阪急阪神沿線で「地域環境づくり」や「次世代の育成」に取り組む市民団体の皆様への助成を行います。皆様のご応募を、心よりお待ちしております。

阪急阪神ホールディングスグループ

◆ 助成額

1団体あたり

50万円

◆ 募集团体数

8団体程度

◆ 募集分野

地域環境づくり

地域の安全・美化運動、里山保全、地産地消、地域の文化芸術の保全・活用、まちづくりなど



次世代の育成

こども達のための環境教育、文化・芸術・スポーツ活動、国際理解教育、困難な状況にあるこどもの支援など



SDGs※の目標4もしくは目標11の達成を意識し、目標17で重視するパートナーシップを組んで行う活動 ※裏面参照

◆ プログラム特徴

阪急阪神沿線で活動する市民団体に助成

当社グループ発祥の地「阪急阪神沿線」の市町で活動する団体に助成することで、より地域の発展につながる活動を支援します。

助成金は使途自由で、運営資金にも利用可

助成金の使途は自由で、既存事業・新規事業いずれの運営資金にも利用可能。市民団体にとって使いやすい助成金です。

グループ従業員の募金を基にした助成金

従業員有志の募金による「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」の積立金に、当社が同額を上乗せして助成します。

広報PRもお手伝い

沿線情報紙「TOKK」や従業員向け情報発信を通じて、団体の活動やイベント情報を広報PRします。

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」 第11回助成プログラムについて

1 募集分野 (A・Bどちらか1つの分野に当てはまれば結構です)

A. 「地域環境づくり」

地域コミュニティが、安全・安心かつ文化的で環境に配慮しながら発展する、持続可能なまちづくり

B. 「次世代の育成」

未来の地域社会を担うことも達成、夢を持ち、健やかに成長する機会づくり



SDGsの目標4もしくは目標11の達成を意識し、目標17で重視するパートナーシップを組んで行う活動

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

SDGsとは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟国が2030年までに17分野で社会課題の解決を達成することを目標に掲げています。

※詳しくは募集要項8ページ参照

2 助成額

1団体あたり

50万円を助成 [8団体程度]



既存・新規いずれの事業でも利用でき、事業経費のほか、組織運営を支える経費、人件費等にも使える助成金です。

※申請団体が行う特定の事業の必要性等を審査し、対象事業に助成金の用途を限定する場合があります「事業助成」とは異なります。

※今年度は、「事業助成部門」の募集はございません。

3 助成対象団体の要件 (一部)

(1) 公益的な活動を行う非営利の市民団体 (特定非営利活動法人、社団法人、財団法人、任意団体など) で、阪急阪神沿線の市町※1を活動フィールドとすること。

(※1) 京都市、向日市、長岡京市、大山崎町、大阪市、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町

(2) 募集分野(「地域環境づくり」または「次世代の育成」)における活動実績があり、2020年4月1日現在で団体設立から3年以上経過していること。

(3) 団体を構成する会員が5人以上いること。

(4) 定款、会則またはこれに相当する規約等を整備し、事業報告書やニュースレターなど、過去の活動実績がわかる書類を発行していること。

※その他、書類の提出や公開などに関して要件があります。詳しくは「募集要項」を助成事務局ウェブサイトから入手してご覧ください。

4 応募期間

2019年9月2日(月)～10月21日(月) 当日消印有効

応募書類一式、正本1部を下記助成事務局にお送りください。

※今年度より、持参による提出は受け付けません。

※応募書類は返却できませんので、申請者は必ず控えをお取りください。

5 選考方法・選考基準

主催者が行う書類選考と選考委員による本選考により、次の観点から総合的に評価し、決定します。

- ① 整合性: プロジェクトの重点領域※1に沿い「SDGs」※2の目標4もしくは目標11を意識した活動を行っている。
- ② 活動目的の社会性: 公益性や重要性が高く、市民が取り組む意義がある。
- ③ 活動実績: 活動目的や社会的背景を踏まえた活動の実績がある。
- ④ 企画力: ニーズ等の分析的確で、目的達成に向けての計画が具体的かつ実現可能である。
- ⑤ 連携と共感: 「SDGs」の目標17・ターゲット17.17に沿っており、多様な人々との連携に向けて開かれ、市民や当社従業員から共感・参加を得やすい。
- ⑥ 組織の継続発展性: 組織・事業が継続する仕組みがあり、今後の発展の可能性がある。

※1 募集要項7ページ参照

※2 募集要項8ページ参照

6 助成実施までのスケジュール



7 募集説明会 要予約

日時: 2019年10月2日(水) 18:30～19:30 (開場18:00)

会場: 阪急電鉄本社ビル 1F エコルテホール (大阪市北区芝田1-16-1)

※参加は任意です。選考への影響は一切ありません。

※事前申込制。HPの申込フォーム (http://www.osakavol.org/yumemachi_kikin/) より、9月30日(月)までにお申し込みください。申し込みフォームからのお申し込みが難しい場合は、助成事務局までご連絡ください。

8 助成事務局 (お問合せ・申請書類送付先)

社会福祉法人 大阪ボランティア協会 (担当: 江瀬 えびさ)
〒540-0012 大阪市中央区谷町2-2-20 2F 市民活動スクエア「CANVAS谷町」
TEL 06-6809-4901 FAX 06-6809-4902 E-MAIL yumemachi@osakavol.org

「募集要項」「助成申請書」ダウンロードページ (大阪ボランティア協会HP内)

URL http://www.osakavol.org/yumemachi_kikin/

※申請についてのお問合せは、「募集要項」「助成申請書」をご覧の上、助成事務局まで電話またはメールでお願いします。*「募集要項」「助成申請書」は、上記ウェブサイトからダウンロードしてください。ダウンロードできない場合は、助成事務局に電話またはFAXで請求できます。

第10回 助成対象団体一覧 (分野別50音順)

地域環境づくり

- 祇園祭ごみゼロ大作戦
- セーフティネットリンケージ
- タウンスペースWAKWAK
- なごみ
- 髭の渡し花咲き会
- 六甲アイランドを美しい街にする会

次世代の育成

- 関西子ども文化協会
- キッズファームin京都大原
- 神戸・灘おもちゃの病院
- しぶたね
- たてじまアートプロジェクト実行委員会
- チャイルド・ケモ・ハウス

- D×P
- 寺子屋プロジェクト
- 日本子ども支援協会
- ひょうご自然教室
- 琵琶湖疏水アカデミー
- 六甲山を活用する会

過去10年間実績

〈助成総数〉

129団体

〈助成総額〉

7,029万円

※この用紙はFSC認証の印刷紙を使用しています。